

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	⑦	下水道施設の機能維持・向上

事業名	ポンプ場更新事業	担当課名	下水道課
-----	----------	------	------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
災害に強いポンプ施設の整備を行い、排水区域の雨水を速やかに排水して浸水の災害を防除し、市民の財産と生命を守り快適な生活環境を確保する。
(事業概要等)
(汐見ポンプ場) ポンプ棟及び沈砂池の耐震化。老朽化した雨水ポンプ設備及び沈砂池設備等を更新する。
(小松雨水ポンプ場) ポンプ棟及び沈砂池の耐震化。老朽化した雨水ポンプ設備及び沈砂池設備等を更新する。

### 【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	357,230	316,572	235,452	328,900	
うち市負担分(千円)	182,140	53,612	118,952	164,450	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
進捗率(汐見ポンプ場)	%	55	75	80	100
進捗率(小松雨水ポンプ場)	%	—	—	—	6
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
汐見ポンプ場において、雨水ポンプ設備1号～4号の更新ができた。また、沈砂池設備の一部についても更新ができた。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	国費の確保
---------	-------

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 汐見ポンプ場の老朽化した雨水ポンプ設備等を計画的に更新することにより、施設が健全な状態を維持することができたため。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	④ ⑤	公共下水道の汚水整備推進 公共下水道の雨水整備推進

事業名	管渠事業(北部処理区 整備事業)	担当課名	下水道課
-----	------------------	------	------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
汚水整備については、良好な都市環境の整備と公共用水域の水質保全を目指すため、また、雨水整備については、浸水防除による生活環境の整備向上を図るため、北部処理区における整備を計画的かつ効率的に推進する。
(事業概要等)
汚水整備については、住民要望等に対応しながら整備を行う。また、雨水整備については、夕凧町地内での整備を中心に行う。

### 【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	282,190	47,542	236,813	769,692	
うち市負担分(千円)	6,320	30,692	130,414	225,892	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
(汚水人口普及率) = (整備人口) / (行政人口)	%	97.0	97.1	97.1	97.2
(雨水整備普及率) = (整備面積) / (認可面積)	%	37.4	37.4	37.4	38.1
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
汚水整備 L=35m 雨水整備 L=157m					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	国費の確保
---------	-------

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民生活に直結した重要な都市基盤整備であり、未普及地区の解消に向けて整備を進めるため。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑥上下水道	⑥	水洗化の普及促進

事業名	水洗便所普及事業	担当課名	下水道課
-----	----------	------	------

### 【事業の概要】

<p>(事業の目的・趣旨)</p> <p>処理区域内の未水洗化世帯に対し水洗化への早期改造に向けた啓発指導。 水洗化の実施により衛生的・文化的な市民生活と、河川・海などの公共水域の水質保全、自然環境保全に努める。また、適正な水洗化工事の実施と事業所管理のため、排水設備工事の確認・検査を行うと共に、排水設備業者の指定登録制度を定める。</p>
<p>(事業概要等)</p> <p>処理区域内の未水洗化世帯訪問調査及び実態の把握。 未水洗化世帯への水洗化改造実施の指導。 水洗化普及促進のための助成金交付及び資金貸付。 排水設備工事の確認及び竣工検査。 排水設備業者への登録等の取扱事務。</p>

### 【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,013	1,966	3,310	5,245	
うち市負担分(千円)	1,013	1,966	3,310	5,245	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
水洗化率	%	89.7	89.8	90.2	90.5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
水洗化について、今後は顕著な伸び率は想定していないが、水洗化率は微増しており、一定の目的は達成していると考えます。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	貸付金については、供用開始の告示日から3年経過の場合、年利3.0%の貸付利子を課していたが、平成24年4月から全て無利子とした。同様に助成金については、水洗便所改造工事1件につき、供用開始の告示日3年以内のものにつき一律3万円であったものを、平成24年4月から、告示1年以内については5万円、2年以内については4万円、3年以内については3万円とし、さらに、貸付制度を利用した改造工事も助成金の対象とした。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	令和2年度末において、水洗化が可能な人口に対する水洗化率が、前年度より向上し90.2%となったが、整備区域の拡大にともない対象人口が増加する中で、水洗化率としては伸びにくい状況となっている。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) これまでの未水洗化世帯に対する啓発活動等により、整備区域拡大による対象人口増加の状況下にあっても水洗化率を維持できている。平成26年度に汚水整備が概成しており、今後も水洗化促進事業の継続により更なる水洗化率の向上が期待できるため。
改革・改善策等の具体的内容		